



2013.9.15 敬老会

### ロザリオの聖母

助任司祭 アントニー神父

「元后、あわれみの母、われらの命、喜び、希望、旅路からあなたに叫ぶエバの子、嘆きながら、泣きながらも涙の谷にあなたを慕う。われらのためにとりなす方、あわれみの目をわれらに注ぎ、とうといあなたの子イエスを旅路の果てに示してください。」

10月7日は「ロザリオの聖母」の記念日です。この記念日は1571年のレパントの海戦でキリスト教徒がオスマン・トルコに対して勝利を収めたことを記念して、ピオ五世教皇によって定められた日で、この勝利がロザリオの祈りによってもたらされた聖母の助けによるものであると信じられていたそうです(毎日のミサ参照)。そして次の教皇グレゴリオ十三世はこの著しい聖母のご保護を永く記念するために、ロザリオの祝日を十月の第一主日と定めたとされています。さらに、十九世紀に教皇ピオ九世および教皇レオ十三世はロザリオについての回勅を出し、ことに十月中のロザリオの信心を盛んにしたようです。

「ロザリオの祈り」を唱えることによってわたしたちは聖母マリアの貞潔、清貧、従順ならびにその謙遜と深い信仰を黙想し、聖母マリアの模範に学んでいきます。そして聖母マリアの生涯を黙想することによって、わたしたちは御子主イエス・キリストの受肉、受難、復活の神祕へと導かれていきます。冒頭にある祈りは「ロザリオの祈り」の祈願の部分です。この祈りの通り、私たちはこの流刑の地に嘆きながら、泣きながらも毎日信仰の戦いを励み、聖母の助けを祈りながら、希望の最終目的地である御子イエス・キリストに向かって忍耐強く歩んでいるのです。

**平日のミサ時刻：**

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時  
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)  
火曜日 午後7時  
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時  
聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

**主日のミサ時刻：**

土曜日 午後2時30分  
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時  
Sunday Mass in English 9:30 am  
(at the Maria Kan Hall)  
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

盲導犬募金にビーバー・カブちゃん  
大声を張り上げる

伊藤 宗太郎

去る9月22日(日)ボーイ97団では小さいカブちゃんやビーバーちゃん達10名を引き連れて、恒例の盲導犬募金を行った。凛々しいスカウトの制服姿で東別院の山門前と会館前に陣取って、「盲導犬募金に協力して下さい！」と可愛い声を張り上げた。今年は寺院でバザーもあり、割り当てられた場所が悪かった。小さな子ども達のいじらしい姿に目を細めて、募金箱にお金を入れて頂いたが、結果は思わしくなく二万二千余円ほどだった。子供達はお駄賃にお菓子を貰ってニコニコと笑って帰ってきた。「眼となれ愛の盲導犬募金」の奉仕に感謝！

WYD inリオデジャネイロ2013  
に参加して

山田 恵美子

2年前のWYD inマドリッドに参加した際、多くの人に助けられました。その人々を通してイエス様に出会うことができた私は、イエス様のために何ができるだろうか。

私は多くの出会いと経験、感動を得ました。何百万人の前で共同祈願当日、言葉の通じない環境による不安と緊張、そして強い雨風で震えていた私に上着を貸してくれたら、「エネルギー！」と言つてご飯やスナックを分けてくれたりと、周りにいた人々の支えにより私の心は暖まり、心を込めて共同祈願をすることができました。人の心に触れるのに言葉の壁はなく、相手を思いやる心があれば行動することで伝えられるものがあることに気付かされました。

カテケージスで「愛は一人では起こらない。あなたとの関係があつて愛がある。」と司教様は言っていました。WYDに参加して終わりではなく、そこで得たものをこれからどう生かしていくかが大切です。私を通してイエス様の愛を広めていくことができますように。アーメン。



### ミニ・バチカン展

7月21日  
鷺沼教会(川崎市)にて





2013.9.15 敬老会



聖ラザロ村友の会 収支会計報告

伊藤 宗太郎

カトリック南山教会では、多年にわたり韓国にあるハンセン病施設「聖ラザロ村」を資金援助してきた。最近一年間の資金収支活動を下記のとおり報告する。最近では会員方々の高齢化により寄付金額は減少気味で、昨年実績を下回った。援助継続にあたって皆さんの体力や経済力の衰えを憂い、今後の展開をどのようにするか再検討が求められている。

聖ラザロ村友の会 第40回会計報告  
収支計算書

自 2012年9月1日 至 2013年8月31日 単位 円

収入の部	金額	支出の部	金額
期首 銀行預金残高	33,142	送金手数料	31,870
一般寄付金	1,493,400	通信費	10,510
受取利息	10	印刷費	14,700
		聖ラザロ村 送金額	
		2012年 10月5日	321,000
		12月26日	410,790
		2013年 2月4日	437,000
		4月18日	126,004
		8月26日	170,776
		期末 銀行預金残高	3,902
合計	1,526,552	合計	1,526,552



B・ノヴァク神父

## 11「永遠のいのちを信じます」

創造主である神によって不死に定められた人間の死は、人間が犯した罪の結果であって、神の意図に反するものです（カトリック教会カテキズム1008）。人間は、死によって支配されている限り、神が人間のために定めてくださった最終的な目的に達することができず、幸せになることもできないのです。「打ちかつべき『最後の敵』」（一コリ15・26）となっているわけです。幸いに、イエス・キリストは、私たちをこの上なく愛してくださり、愛の最高の奉獻となつたご自分の死によって死に打ち勝ったゆえに、イエスと結びれている人にとって死は、もはや自分の破壊ではなく、永遠のいのちへの門になっているのです。ですから、キリストを信じている私たちは、自然に死を恐れても、この恐れによって左右されずに生きることが、大きな希望を持って自分の死を迎

えることもできるのです。

父である神は、私たちのために準備してくださった「天国」とも言われている永遠のいのちは、「目が見もせず、耳が聞きもせず、人の心に思い浮かびもしなかったこと」（一コリ2・9）、つまり、人間の理解と想像をはるかに超えるものです。けれども、この現実を完全に理解することも、想像することもできなくても、神ご自身がみことばに基づいて教えてくださったことで、描くことができます。永遠のいのちに受け入れられた人は、先ず、キリストと共に永遠に生きるようになります。この人は、キリストによって、いつまでも切られることのない愛の絆によって、三位一体の神ご自身と、救われたすべての人々と結びれるのです。「天国」において神ご自身と完全な交わりに生きる人は、永遠に神に似た者となります。そして、神を「ありのままに」（一ヨハ3・2）、「顔と顔とを合わせて」（一コリ13・12）見るのです。「天上の栄光に包まれた神を観想する

ことは、教会によって「至福直観」と呼ばれています。（カトリック教会カテキズム1002）この完全な愛の交わりと「至福直観」は、人間の究極目的であり、その内奥にある願望の実現であり、この上ない至福の状態なのです。天国で生きる人は、真の自分という存在を確保し続けるだけではなく、自分の真の名前、つまり自分の存在の真の意義を見いだして、完全にそれに沿って生きるようになるのです。初めて自分らしく生きるの

天国の本質は、神との愛の交わりです。いろいろな愛着や執着によって、神以外のものと強く結ばれたまま死んだ人、つまり神との愛の交わりに生きることができないまま死んだ人は、死後直接に天国に入ることができないのです。幸いにイエス・キリストが教えてくださった（マタ12・32）通りに、「あの世」でも、罪のゆるし、結果的に残された愛着や執着から解放されて、神との愛の交わりを受け入れられることが可能です。この清められた状態は、煉獄と呼ばれる状態です。確かに、いろいろな愛着から清められることが、苦しいことであるはずですが、苦しんでも、煉獄は、罰と愛は必ず本人の自由な選択です

父である神は、すべての人の救いを望んでおられる（1テモ2・4）し、一人ひとりの救いのために全力を尽くして働いておられます。けれども、神との永遠の交わりは、愛に基づくものなのです。神を愛することなく、愛によって神と結び合っている人は、この交わりに入ることができないのです。そして、愛は必ず本人の自由な選択です



2013年10月5日

司祭団より

マーティン師のお母様がお亡くなりになった。来年の予定を先取りし、マーティン師は3カ月休暇に入る。

報告事項

敬老会

9月15日(日)開催。47名が参加。南山小学校児童による琴演奏や、教会学校・中高生会から歌やお祝いカードのプレゼント等のアクションがあった。

来年度以降、敬老会の後、談話のできる場所の設置を検討する。

城東ブロック会議

9月15日ブロック会議開催。

信徒協のホームページが立ち上げられた。名古屋教区のホームページから入れるので、見ていただきたい。

第2回信徒養成講座(11月23日土曜日開催予定)の案内が近日中に各小教区に送付される。テーマは「あなたは救われている」で、講師は晴佐久神父様。場所は金沢教会。参加費はバス、昼食代込みで4,000円

各小教区のバザーは以下のとおり。平針教会まつり2013は、10月20日開催。ぜんだなまつり

は、10月27日開催。多治見修道院ワインフェスタは、11月2日開催。恵方ふれあいバザーは、11月10日開催。

城東ブロックの集い

9月22日平針教会にて開催。テーマは「潜伏キリシタンに学ぶ信仰の伝承」。

会議室がほぼ満席になるぐらいの出席(30〜40名)があり、盛況だった。

ムンシ神父様のお話も力一杯で、楽しい会となった。

避難訓練

9月22日に順調に執り行われた。皆さんが慣れてきている。

反省事項は次のとおり。

↓香部屋、控室のどちらから出れば良いのかはつきりしていなかった。

↓案内が始まる前から避難し始めていた。

↓香部屋から出た方が司祭館前の中庭ではなく、坂道の道路に集まっていた。危ない。

↓避難後の司祭館からマリア館までの経路の見直し。マリア館に行く必要があるのか。

↓他の時間帯でのミサでもやるべきでは?

納骨堂申し込み状況と建設の進捗状況

コンクリート打ち込み完了。今

後、土の埋戻しと内装・外装に取り掛かる。

2日くらい工程が遅れているが、11月末完成は問題ない予定。

12月15日9時半ミサ後に竣工式を計画。その日から5日間日程を決めて見学会を実施の予定。

事前申し込みは10月一杯で終了し、それ以降は竣工後に再開。

倉庫整理

9月23日に実施した。大体昨年と同量の廃棄物があった。この廃棄物の処理に5万5千円程の費用がかかった。

ゴミ処理には多額の費用がかかるので、今後はできるだけ教会内でゴミを出さないように協力していただきたい。

審議事項

今年度バザーについて

開催月にあたり、最終の詰めの確認をした。

チケット販売を9月21日より行っている。

案内状を40部作成し、近隣へ配布。

バザー収益金の取り扱いについては、運営委員会に一任する。

新品・フリーマーケットに品物を提供してくださる方の中で、売却希望価格がおりの方は、品物の持ち込みの際に事務所に申し出ていただく。

バザーのために品物を寄付してくださった方の意向に従って、事前に売ることなく、全品をバザーに出すことが確認された。

「聖母の家学園」新校舎建設に伴う寄付の検討について

先回司祭団の案内に基づき寄付の是非と寄付する場合の金額等を検討したい

今年のバザー収入は南山教会の為に使用するが、その内一部を寄付する方向で検討する。

オルガン管理委員会(仮称)

先回の運営委員会議事に基づき、内規案の提示があり、来月の運営委員会にて結論を得たい。今後、オルガン管理委員会でもオルガン修理方法、見積りなどの検討などをしてほしい。

構成…主任司祭(又は主任司祭の指名する助任司祭)、オルガニストの代表2名、典礼委員長、定例奉仕者代表、営繕委員長、財務委員長、ヨゼフ会およびマリア会から各1名で構成する。委員長はオルガニストの中から選出する。

9月に業者による調査が行われ、音が出ない等、各種不具合の発見と、オルガニストからの不具合の報告がされた。

パイプオルガンだけでなく、小聖堂のオルガンの管理もオルガン管理委員会でする方向で検討。

## 教会美化

10月13日(日)実施予定。

実行月にあたり、準備状況の再確認を行った。

準備は整っており、当日を待つばかり。12時からパーベキューを開催。

落ち葉の処理は1袋300円の費用がかかるため、できるだけ詰め込んでいただきたい。

雨天時は、10月20日に延期し、パーベキューは開催しない。

## 土曜日の主日のミサ時間の変更

教会法に基づく、土曜日14時半からのミサは時間が早く主日のミサには当てはまらない。

しかし、40年ほど14時半から実施されている。変更についての詳細をボグダン師より月報に記載していただく。

## 聖ラザロ村友の会会計報告

最近では会員方々の高齢化により、寄付金は減少気味。今期にて資金援助を終了することを決定。年内に聖ラザロ村友の会は解散し、今後は組織としてではなく、個人で対応する予定。

## 各会報告

### 青年会

第25回「NWM(ネットワークミーティング) in 京都」が9月21日～22日行われた。日本全国から約130人の青年が参加し

た。南山教会から4人の青年が参加した。

10月は、13日、27日に青年会開催。16時から。

### 教会学校

9月15日敬老会に参加。歌とお祝いカードをプレゼントした。

### 典礼委員会

9月8日 典礼委員会  
9月14日 十字架賞賛の祝日

(南山教会は聖十字架に捧げられた聖堂)

9月16日 名古屋教区典礼研修会。南山教会からも数名参加。

10月13日 南山教会侍者会  
10月20日 典礼委員会

次回は11月3日  
11月掲示板当番は英語ミサ



2013.9.22 避難訓練

## カトリック教会のカテキズムより

1381 「キリストの真のからだと真の血の現存は、『感覚によってではなく、ただ神の権威に支えられた信仰によってのみ把握される』と聖トマスは述べています。聖チリロはこれはあなたがたのために与えられるわたしのからだであるというルカ22章19節のことばを解説して、こういいます。『真であるか否かを問わずに、むしろ、主のことばを信仰をもって受け入れなさい。真理であるかたは偽りを話されません』と」。

「これらの形の下に隠れてはいても、  
現存する神であるあなたを、わたしはひれ伏して礼拝します。  
わたしの心をまったくあなたに従わせます。  
あなたを見つめていると、なすべきことが分からないからです。  
視覚も触覚も味覚も、あなたを把握できません。  
聴覚だけによって信ずべきことが分かるのです。  
わたしは、神の御子が語られたすべてのことを信じます。  
真理であるかたのことばより真実なものは何もないのです」。

“Adoro Te devote” (AHMA 50,589)

# 南山句会

平成二十五年九月四日



流星雨いつしか少年凜々しかり  
星月夜星を語らふ子の眸

義子

朝顔や日毎変わりに清々し  
黄花咲き待てどゴーヤは実らざり

美智子

立ち直る心とからだ九月来る  
体調を心に試歩や今朝の秋

牧子

震災の人を偲びて盆の入り  
佛壇の祖母に薄紅芙蓉かな

眞嬉子

万緑につつまれ小さき旅路かな  
朝顔の水忘れ来て旅の宿

紀子

空爆の思ひ出よぎる終戦日  
どこまでも昇りてゆきし雲の峰

とく子

新涼や修道院の廊ふかし  
九條をこころに刻み終戦日

せつ子

毎月第一水曜日午後一時半  
マリア館二階集会室

## 信者の消息

**転出** いつまでもお元気で

Maria Prudentia 森岡 節子 (神戸中央教会)

**受洗** おめでとうございます

フランスコアシジ VU VAN MINH  
マリア VU HOA PHUONG TRANG  
セリア 村橋 芹

**転入** ようこそ

マルゲリット・マリー 大村 由樹 (宇和島教会)

**結婚** ♡ お幸せに ♡

パウ 井上 公德 ♡ 林 優己子

**帰天** ご冥福をお祈りします

パウ 金原 隆一 (83歳)

教会維持費

9月は942.784円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお祈りします。

## 2013年10月・11月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
10月	ロザリオの月 20(日)世界宣教の日	13(日)教会美化・BBQ 27(日)バザー・日英合同ミサ	4(金)マリア会例会(懇談会) 6(日)運営委員会 13(日)ヨセフ会班長会 19(土)10:30子ども部屋 20(日)典礼委員会 26(土)要約筆記付きミサ	17(木)司祭協議会 20(日)世界宣教の日(献金)
11月	死者の月 1(金)諸聖人の祭日 2(土)死者の日 9(土)ラテラン教会の献堂 24(日)王であるキリスト	1(金)行事予定及び 予算審議開始 3(日)4:00墓参 29(金)マリア会遠足 10(日)子どものミサ(七五三) 24(日)9:30天使ミサ・入門式・日英合同ミサ	3(日)運営委員会 10(日)教会学校七五三 10(日)典礼委員会 10(日)ヨセフ会班長会 16(土)10:30子ども部屋 23(土)要約筆記付きミサ	